

第13回情報プロフェッショナルシンポジウム INFOPRO 2016 トーク&トーク

共催: 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)
一般社団法人情報科学技術協会(INFOSTA)

期日: 2016年12月2日(金) 10:00-12:00

会場: 国立研究開発法人 科学技術振興機構
東京本部別館 (東京都千代田区五番町7 K's 五番町)

情報社会から融合社会へ

— 仮想と現実が融合する社会での情報のガバナンスと信頼性を考える —

テーマ

- ICT (Information and Communication Technologies) は、今や我々の日常の隅々にまで及んできています。
- ICT の発展により、個々の技術が融合し、新しいビジネスが生まれてきています。タクシーにかわる Uber、ホテルにかわる Airbnb や Bitcoin のような電子通貨がその例です。
- このような技術融合社会において、情報の信頼性をどう担保するか、インフォプロの役割が問われています。
- ICT による社会イノベーションにおいてインフォプロはどのような役割を果たせるでしょうか。
- これらの問題について、識者より話題提供をいただきます。

話題提供者

● **曾根原 登氏** (国立情報学研究所 情報社会相関研究系 研究主幹・教授)

現実世界の人・モノ・社会の過去・現在そして未来に起こる状態変化は、Web や SNS 空間に投影されて情報の変化となる。その情報・データの変化を Web 空間で解析・シミュレーションをして、人やモノに対してふたたびフィードバックすることで、新たな価値を創出し、人々の生活をより良いものにする。このような情報循環により、融合社会での新たな知的情報産業、知識サービス産業を創出するデータ駆動による意志決定や政策決定の科学的方法論について研究。

● **宮澤 一洋氏** (ウェルネット株式会社 代表取締役社長)

黎明期にあったインターネットにおける決済サービスにいち早く参入し、2000年にはペーパーレスかつリアルタイムの現金決済をキオスク端末で行うという画期的なサービスを開発し提供。

● **奥村 貴史氏** (国立保健医療科学院 研究情報支援研究センター 特命上席主任研究官)

計算機科学、公衆衛生情報学の研究者。計算機科学というコンピュータの基礎研究分野の研究者であるとともに医師としても活躍。公衆衛生や臨床の現場において生じているさまざまな問題に対して、コンピュータやコンピュータネットワークを活用して解決について研究。

● **北村 紗衣氏** (武蔵大学 専任講師)

シェイクスピア研究者で、質・量ともに史上最高の百科事典を目指して共同作業で創り上げるフリーの百科事典プロジェクト、Wikipedia の日本語版で活動するウィキペディアンである。大学において、学生が英語版からの翻訳により実際に Wikipedia 日本語版に記事を作成するという内容のプロジェクト授業を実施している。